

# ひょうたけいけ

桜台小 学校だより  
令和3年6月22日  
第13号



ひらめきの子もたちが春に植えた、トウモロコシやキュウリ、ナスなどの野菜が順調に大きく育っています。毎日水をやり、草取りをして、菜園をしっかりと管理しています。各学年の菜園では、子どもたちが植えたサツマイモが元気に育っています。1年生が春に種をまいたアサガオも、毎日欠かさず水をやっていく中で成長し、少しずつツルが伸び始めました。

野菜や草花は、しっかりと世話をするとその成長が見て感じ取れ、達成感を味わえます。逆に世話をしないと枯れてしまったり、草に栄養分を取られたりして成長が妨げられ、その成果がはっきりと表れます。毎日世話をしている野菜や草花の成長を見て、子どもたちは何を感じているのでしょうか。世話をすることで感性が磨かれ、心豊かに子どもたちが成長してくれることを願います。  
※学校ホームページ「桜台っ子ニュース」では、日々の学校の様子を紹介しています。



## 桜小・桜中合同コミュニティスクール（CS）運営協議会開催

17日（木）の午前中に、「桜中・桜台小合同CS運営協議会」を開催しました。本校の委員と桜中学校の委員、関係者を合わせて19名に参加いただきました。委員の皆様には、感染防止対策の観点から桜中グループ、桜台小グループの二手に分かれて子どもたちの授業中の様子を参観していただきました。また、校長からは「あたりまえのことをあたりまえにできる子どもに」「授業を大切に子ども育成」「地域、保護者から信頼される学校づくり」という3つの観点を中心に、日常の学校生活の様子を紹介しながら、お話をさせていただきました。



懇談会（意見交換）では、「現在の子もはデジタル化社会にかかわる子どもで、これまでの大人の持つ感覚で子どもたちを見てはいけない」「昔と子どもが変わったと言われるが、そんなに変わってはいなくて純粋さを持っている」「夜遅くにかけてオンラインゲームをやっている子どももいて、情報機器の使用にあたっては、ルールを決めておく必要がある」といった意見が出されました。また、今年度は夏休み期間中、市教委の方針で、子どもたちに学校で使っているタブレット端末を持ち帰らせることとなりますが、「タブレット使用の規制をかけられるのだろうか」「持ち帰りのルールを作る必要がある」といった心配の声もいただきました。委員の皆様からいただいたご意見をふまえ、今後の本校の教育活動に役立てていきたいと思っております。



## 偏見を持ったり、差別をしたりしないように考えました。

6月20日（日）までの「まん延防止等重点措置」の延長に伴い、6月11日（金）に予定していました授業公開と学級懇談会は中止とさせていただきました。四日市市内でも感染者の減少は見られますが、学校現場においては、市内で未だ連日陽性者の判明が起こっており、市長も市内在住の教職員に対して新型コロナウイルスワクチンの優先接種を表明されました。市内における感染拡大は収束の見通しがなく、本当に身近な問題となっています。本校においても、授業公開と学級懇談会を通して、保護者の皆様や子どもたちと、感染者やその医療に携わる従事者等に対して偏見を持ったり、差別をしたりしないように考え合う機会を持つ予定をしていました。残念ながら実現することができませんでしたが、ぜひ各学年から発行されている学年だよりをお読みいただき、偏見を持ったり、差別をしたりする心を持たないように、ご家庭でも子どもたちとお話をしていただければ幸いです。

（文責 北住 昌文）

